

会議結果報告書

1 会議の名称

平成24年度第1回光市文化財審議会

2 開催日時

平成25年2月20日（水）14時～15時30分

3 開催場所

光市教育委員会1階ホール

4 出席者

光市文化財審議会委員 10名中10名
事務局5名

5 公開・一部非公開の別

公開

6 会議の議事録（要旨）

（1）教育長挨拶

（2）委員の任命並びに紹介

光市文化財保護条例第16条に基づく委員の改選による

（3）会長・副会長の選任

会 長 國廣 哲也 氏

副会長 齋藤まゆみ 氏

（4）平成24年度実施事業報告

事務局より、パワーポイントを用いて、以下の実施事業について概要を報告。

ア 文化財保護事業

イ 文化財活用事業

（5）議題

ア 歴史文化編纂事業について

会議資料を用いて、本事業について、事務局及び担当委員より説明。

（委 員）

冊子の目次の一章にある「文化のあけぼの」の項目中に表記してある「無土器文化」の用語は不適當である。「旧石器時代の用語」が正しいのではないか。

（事務局）

名称については「旧石器時代」の用語で行いたい。古代史にかかわる原稿については資料を整理している段階で、原稿の執筆にとりかかっているのではない。書く段階で用語の訂正をしたい。

(委員)

前回の審議会の資料では平成25年度に成果品の冊子をとあるが、25年度の予定でいいのか。

(事務局)

冊子の印刷を含めてということで平成26年度中の完成を考えている。

(委員)

成果品は平成26年と考えていいのか。できるならば、資料の中に行程表を入れておくとよくわかる。

(事務局)

そのようにしたい。

(委員)

光市の文化財をよく知らない人が多い。たとえば植物にしても昨年「新ひかり名木百選」の本を刊行したが知らない人が多い。文化財の探訪などを度々やってもらいたい。今度出来る本も、市役所や本屋などで売るとよい。そして、文化財の宣伝も少ない。多くの光市の良さを宣伝したいものである。

また、案内看板の表記も考えてほしい。同じ植物であっても場所によって国の天然記念物と書いているところもあるし、県指定天然記念物と書いてある場所もある。また、指定されているのに説明の看板のないところもある。牛島の南側のマテバジイの群落や巨木に行くルートは何度行っても矢印が書かれていない。ブロックにでも書いておけばいい。また、その下は石灰、銅を焼いたところもあり、市内外の人に文化財のあることを広めてほしい。

(事務局)

冊子については学校の教材にもなるようにしているところであり、保存活用、調査活動、環境美化などについても考察していきたいと考えている。来年度は「牛島の文化財マップ」の作成も予定している。看板や矢印については確認して検討したい。

(委員)

冊子は、見本を見てもとっつきやすいし、出来上がりが楽しみである。苦労もあることと思うが新しい光市としての郷土意識を育てていくためにも頑張してほしい。カードについてはすべて冊子に取り上げることはできない。かといって、そのままにしておくことはもったいないので、何らかの形で市民に還元してほしい。〇〇地区文化財カルテのように歴史文化遺産の活用のための現地調査カードのようなものを作っていくのも一つの考えである。また、カードに

よって新たに把握した文化財もあるのではないかと思います。調査や保存についても考えてほしい。

(事務局)

市民目線に配慮した冊子作りに取り組みたい。また、学校の教材もなるよう配慮したい。カードの活用については、文化財の現状を把握したカードのようなものの作成に取り組みたい。新たな文化財については、歴史分析を行い、全体的把握に努めたい。

(関係委員)

新しくなった光市を意識して、素晴らしいものを作りたい。出来上がる冊子を基にした、発展的な小冊子については次の段階だと思っている。

(委員)

できた物の販売方法を考える必要がある。

(事務局)

市役所や支所などに置いて一般にも販売したいと考えている。

(委員)

簡保、スポーツ公園、牛島、いろいろなところにおいて販売したらよい。補助金もしっかりつけたらよい。

(副会長)

人が集まる所に置いて販売したらよい。

(委員)

書店に置くこともできるだろう。

(副会長)

ネット販売も考えたらどうか。宣伝をしっかりしてほしい。

(委員)

大体どれくらいのボリュームになるのだろうか。

(関係委員)

A4判で300頁を考えている。

(委員)

編纂事業の目的には、「遺跡、古墳、神社仏閣、碑、石仏等の遺物及び人物、民族、伝承、伝説等幅広く網羅した冊子を編纂し」とあるが、目次を見ると長州藩の成立などの章立てがあり、内容的に違和感を感じるが・・・。

(関係委員)

(章立ての中で) 指摘された部分についても取り上げる予定でいる。

(委員)

そうなると頁が足りなくなりはないか。

(関係委員)

ご指摘に十分配慮したい。

(委員)

目的に即して冊子を作成されたいかがか。

(関係委員)

ねらいに則しながら作成したい。

(委員)

(頁オーバーは)本の値段にも関係する。

(関係委員)

学校教育にも反映してほしいし、若い人にもしっかり読んでもらいたい。

(委員)

販売をしっかりと考えて読んでもらうようにしたらよい。

(副会長)

調査カードのデータベース化について、全てではないと言っていたように思うが・・・。

(事務局)

一応すべてデータベース化する予定でいる。

(副会長)

新たな文化財の掘り起こしも必要ではないか。冊子に反映されなかった物にも価値はある。それらの活用を考えてほしい。

(議長)

一応議論も出たようなので議題を閉じたい。

(6) その他

(委員)

石城山には大きなヒノキやツクバネガシ、ウラジログシ、ボダイジュなど貴重な木々があり、石城山のそれを天然記念物に指定していただきたい。そうすると神籠石の価値も上がる。森様もムクノキやクスノキで指定されているし、他の市町にも例がある。

(事務局)

石城山は市有地が少なく、民有地がほとんどであるので検討させていただきたい。

(委員)

天行居は神社を大切にしている。自然記念物だけでなく全体的に、岩紅葉を含めて指定してほしい。

(委員)

神社周辺だけでも、指定してほしいと思う。

(委員)

ヤマザクラもあった。あれはいい。

(副会長)

神籠石の環境調査はどうしたのか。

(関係委員)

それは別の時期に実施した。神籠石の保護のため。所有者があっちこっちにいて手に負えないところもあって苦慮した。

(委員)

ツルアジサイはどう思われるか。天然記念物にするなら考えてほしい。直径も大きく貴重である。

(事務局)

南委員の指導を受けながら検討したい。

(副会長)

牛島の文化財の紹介がばらばらである。歴史文化の表現の仕方、看板の立て方などそう思う。統一性を持たせることが活動のしやすさにつながる。活用のしやすさについて事務局はどう思うか。

(事務局)

看板標記の修正、付け替え等他課と連携しながら取り組んでいきたい。

(副会長)

景観にも気をつけて実施してほしいし、各課とも連携して取り組んでほしい。

(事務局)

そのようにしていきたい。

(副会長)

2013年は伊藤博文が洋行して150周年にあたる。150周年にかかわる情報等があれば提供してほしい。また、当方としても同時多発的にイベントを企画したいと思っている。そして、この機会に歴史に興味を持ってもらう機会にしたい。

(事務局)

伊藤公資料館も企画展等の計画がある。

(副会長)

行政と市民が一緒にできることがあればよろしくお願ひしたい。最後にパワーポイントのスライドショーを見て感想を述べる。いろいろの取り組みをされていることはとても良いことだと思った。保存のための活用、活用のための保存。このサイクルがうまくいっていると思った。今後も頑張っしてほしい。

7 問合せ先

光市教育委員会 文化・生涯学習課 (0833-74-3607)